

頑張る企業を応援します！

中小企業応援団

愛知県信用保証協会 × 中部経済新聞



掲載日 2022年3月18日

## バタフライブルワリー

バタフライブルワリーは春日市内初のクラフトビール醸造所。自宅の一角で2021年11月にオープンした。瓶売り、量り売り、関連グッズ販売のほかに試飲もできる。同店のコンセプトや特徴的な取り組みを代表の入谷公博氏に聞いた。

### Company Data

社名：バタフライブルワリー

代表：入谷 公博

住所：春日井市大手田西町 1-2-7

電話：080-4867-0322

URL：<https://butterflybrewery.jp>

紹介金融機関：東春信用金庫



### 亡くなった妻と考案したコンセプト「ビールと音楽の融合」

当店は、2021年11月3日に開店しました。所在地である春日井市の形が蝶（ちょう）に似ていることから、店名を「バタフライブルワリー」（蝶＝バタフライ）としています。

当店では全10種類のクラフトビールを販売しています。クラフトビールといえば、香りととろみを感じられる味わい深いビールで、「ビール好き」なかたに嗜好されるイメージがありますが、当店ではビール好きのかた以外にも「ビールを手軽に飲んで楽しんでもらいたい」と考えています。そのために考案したのが、「ビールと音楽の融合」です。

当店のクラフトビールには、それぞれの色、味、香りなどの個性からイメージした楽器の名前を付けています。

例えば、「フルーツ」は、きらめく色合いと爽やかな香り、それに優しい苦みがアクセントになります。「マリンバ」なら、ビーツ（赤い根菜）を使った鮮やかなピンク色と、ブルー



ティーさの後に残るほろ苦さが特長です。他にも「和琴（わごん）」は、日本酒酵母を使った優美で雅やかな香りが特色となっているなど、それぞれの楽器の個性を何らかの形でビールに反映させています。

「ビールと音楽の融合」は、フルート奏者だった妻と考案したものです。もともと、「夫婦一緒に家でできる仕事を」と考え起業準備を進めていた中で、ビールと音楽を楽しめる店というコンセプトを思いつきました。現在使用しているロゴデザインや、店の基本設計なども妻と一緒に考えたものです。

## エコでお得な「量り売り」を推奨

当店ではビールの瓶売りのほか、春日井市内でも珍しい量り売りを行っています。量り売りを行うことによって、空き瓶を処分する手間が省けるほか、瓶に使う資源を削減できるため、SDGsにも貢献できます。値段も瓶で3本買うより2割程度安く販売しています。お客様からも好評をいただき、マイボトルを持参いただくかたも増えています。

## 一期一会を大切に

当店を起業する際に目指したのは、「落ち着いた雰囲気の中で音楽が聞けてお酒の飲める場所」です。郊外にある自宅の敷地が使えたのは大きな利点でした。また、当店では2か月に一度くらいの頻度で、さまざまな演奏家のかたに来ていただき、ミニコンサートを開いています。昨年のオープン時には妻の同僚であったフルート演奏者に来ていただいたほか、クリスマスや今年の3月にもミニコンサートを開催しました。こういったイベント活動は、固定ファンづくりや地域貢献にもつながっていると感じています。

私は、1つ1つの出会い全てが今につながると考えており、「一期一会」を大事な言葉としています。オープンからまだ半年程度ですが、妻の家族や友人など多くのかたに支えてもらい、ここまで来られました。イベントの際は妻の音楽仲間にも協力して頂き、大変感謝しております。

他にも、前職の同僚や先輩もよく来店いただき「プチ同窓会」のようになるのも私の楽しみです。こうした人との出会いはかけがえのない思い出であり、当店の支えとなっています。

## 妻の支えを力に自家醸造や飲食店舗へ

今後は5月頃から自家醸造開始を予定しているほか、ウッドデッキやテントなどを設け、本格的に腰を据えてじっくり飲めるスペースを作ることを検討しています。手作り感を大切にしながら、この場所だからこそできるコミュニケーションの場を提供できればと考えています。

多くのかたに支えられている当店ですが、私にとって今でも大きな支えとなっているのは子供たちです。また当店の外壁には、妻の身長をベースにした等身大の



フルートを吹いているイラストがあります。子供たちとこれを見るたびに、妻が応援してくれているという気持ちになります。妻と紡いだ夢はまだまだ広がっていきそうです。